

不登校・引きこもり を考える

—あいのままを受けとめ、多様なニーズに応えるかかわり—

子ども・若者シンポジウム

Fonte（不登校新聞）編集者
元東京シューレ利用者
元札幌自由が丘学園利用者

当事者の立場から
体験や思いを語って
もらいます。

進行：奥地圭子さん



奥地圭子さん講演（プロフィールは裏面）

登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク代表理事

主催：特定非営利活動法人 登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク



9/24

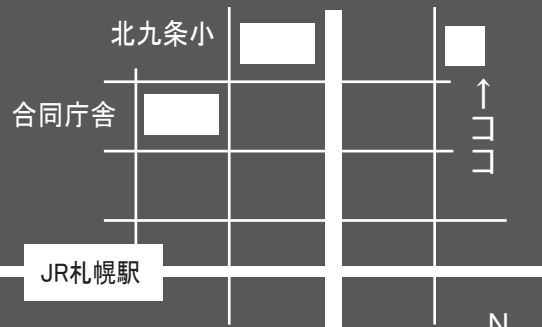
(土)

13:30-17:00

費用

500円

りんゆうホール



札幌市東区北9条東2丁目
りんゆう観光3階

■■■ 連絡先 ■■■

電話・fax：03-0906-5614

e-mail：info@futoko-net.org

url：http://www.futoko-net.org



財団法人JKA補助事業

不登校・引きこもりを考える

—ありのままを受けとめ、多様なニーズに応えるかかわり—



- 特定非営利活動法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク主催
- 財団法人JKA補助事業
- 後援：北海道教育委員会・札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社

13：40～15：00 奥地圭子さん講演会



登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク代表理事、フリースクール全国ネットワーク代表理事。小学校教員をしていた時にわが子の登校拒否から親の考え方の大切さを知り、1984年に親の会「登校拒否を考える会」発足、1985年に教員を辞しフリースクール「東京シューレ」開設。2007年に不登校の子どもに向けた「東京シューレ葛飾中学校」を葛飾区新小岩に開校し、校長を勤める。

不登校の子どもや親との付き合いが長く、不登校についての社会の認識転換と多様な成長が選べる社会づくりに向けて活動し続けている。

最新刊『子どもをいちばん大切に作る学校』（東京シューレ出版）

15：20～17：00 子ども・若者シンポジウム

不登校とは？ 引きこもりとは？ お子さんとどう関わっていいのかわからない、悩んだり苦しんだりしておられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。経験した当事者の話を聞いてみましょう。「こういう関わり方は良かった」「こういう言葉は、とても嫌だった」という声を聞きながら、お子さんとの関わり方のヒントが見つかるのではないかと、思います。

特定非営利活動法人(NPO法人)

登校拒否・不登校を考える全国ネットワークって？



不登校の子どもや、不登校の子を持つ親など、当事者から立ち上がった全国の親の会がつながって、1989年から活動している全国組織です。現在、北海道をはじめ、全国で70近くの団体が加盟しています。

参加しているそれぞれの会は、規模も歴史も様々ですが、子どもを一人の人間として尊重し、当事者の子どもから学ぶことを大切にしてきました。不登校について理解を深め、支え合い、経験を共有すること、世間の偏見や誤解を変え、いろいろな育ち方・生き方が気持ちよくできる社会にしていこうと目指してきました。

これからもつながりあいながら、不登校子どもや親を支えるとともに、子どもが安心して育つために必要なことをすすめていきたいと考えています。

また、「フリースクール全国ネットワーク」と協力して、毎年「不登校・登校拒否を考える夏の全国大会」を開催。来年はここ北海道で開催します。

今回、全国大会にさきがけ、北海道で不登校・引きこもりの学習講演会を開けますことをうれしく思っております。どうぞお誘いあわせの上、お越してください。

来年「登校拒否・不登校を考える夏の全国大会」を札幌で開催できることに大きな喜びと責任を感じています。そしてまた、私たちは札幌の地から、不登校の子どもたちの権利を受けとめフリースクールの役割の重要性を発信する政治を期待しているのですが、この9月の集会在これらの意義をアピールできることを確信しています。

北海道フリースクール等ネットワーク代表 亀貝一義